

ネクスティ エレクトロニクスの取組紹介

2019年9月3日プレスリリース

熱中症ゼロへ!IoTで熱中症の予防に貢献

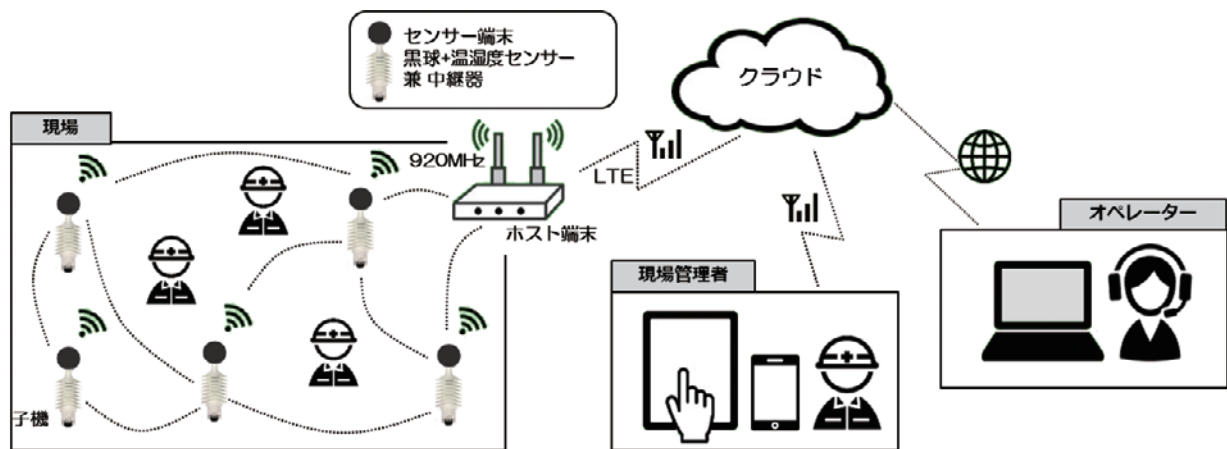
～ リアルタイムデータを使って熱中症のリスクを見える化 ～

株式会社ネクスティ エレクトロニクスは、2020年夏頃の本格販売を目指し、熱中症に対するリスクの把握・管理を目的とした「熱中症見守りシステム」を新たに開発しました。厚生労働省が熱中症の発生リスクを把握する指数として推奨しているWBGT値*を見える化し、熱中症のリスクを軽減します。

※ WBGT値：①相対湿度、②日射・輻射熱、③周囲環境温度の3つの指標から算出される指数で、WBGT値が高い時に熱中症が起こりやすくなります。

■システムの特長

対象現場にセンサー端末を設置し、測定情報をクラウドサーバーへリアルタイムに送信・記録します。記録されたデータはPCやモバイル端末に送信され、遠距離から設置現場の状況を把握し、熱中症対策の実施を設置現場側に促すことができます。また設置現場側では、警報通知メールの自動配信に加え、センサー端末のLEDライトが点灯するため、タイムリーに熱中症のリスクを把握することができます。



ホスト端末1台を現場に設置し、センサー端末を人が居る周辺に配置

■ポイント

- センサーを設置した場所のWBGT値を遠距離からリアルタイムに状況把握が可能
- WBGT値が一定のレベルを超えた場合に、現場管理者や作業員に対し、警告メールを自動配信することが可能
- 通信は920MHz帯を採用し、安定した長距離通信が可能
- センサー・ホスト端末は単三電池4本で、ワンシーズン(夏)稼働可能
- 蓄積されたログ情報と翌日の天気予報をもとに、翌日のWBGT予測を検討中

■様々なシーンで活用

教育施設



建設現場



介護施設



お問い合わせ先／組込みソリューション本部 <https://www.nexty-ele.com>